

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	化粧品検定対策講座 I		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 火・3限	教室名	4校舎502
担 当 教 員	西岡 利子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
日本化粧品検定2級に向けての対策講座です。2級範囲では皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方やメイク方法、美肌に導く美容知識を習得します。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点×0.7+出席点20点+平常点(小テスト)10点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
日本化粧品検定3・2級対策テキスト						
《授業外における学習方法》						
テキスト及びプリントの復習、練習問題の繰り返し						
《履修に当たっての留意点》						
検定合格には毎回の授業の積み重ねが大切です。分からない所は遠慮なく早めに聞きに来てください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	現状の美容知識を確認することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう	
		各コマにおける授業予定	【3級範囲】まちがえがちな美容知識をチェック クレンジング～スペシャルケア			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	現状の美容知識を確認することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう	
		各コマにおける授業予定	まちがえがちな美容知識をチェック お手入れの基本手順～自分に似合う色			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	現状の美容知識を確認することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう	
		各コマにおける授業予定	まちがえがちな美容知識をチェック 唇の皮むけ～日本と海外の化粧品			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	3級web試験合格・【2級範囲】皮膚と肌について正しい構造や仕組みを理解、説明することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう	
		各コマにおける授業予定	皮膚・肌について知ろう 皮膚の構造・皮膚のしくみと働き(皮脂膜まで)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮膚と肌について正しい構造や仕組みを理解、説明することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう	
		各コマにおける授業予定	皮膚・肌について知ろう 表皮のターンオーバー～皮膚の機能			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌の手入れと正しい知識について理解、説明することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう
		各コマにおける授業予定	肌の手入れと正しい知識 肌タイプと見分け方～肌悩みの原因とお手入れ(乾燥・毛穴・ニキビ)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌の手入れと正しい知識について理解、説明することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう
		各コマにおける授業予定	肌の手入れと正しい知識 肌悩みの原因とお手入れ(シミ・くすみ・くま・しわ・たるみ)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌の手入れと正しい知識について理解、説明することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう
		各コマにおける授業予定	総まとめ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	化粧品検定対策講座 I		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	4校舎502
担 当 教 員	西岡 利子	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>日本化粧品検定1級取得に向けての対策講座です。3・2級の総復習から実施します。 2級範囲に加えて、化粧品の成分や製品の種類・働きを中心に化粧品の歴史や法律まで幅広い知識を学びます。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>試験素点×0.7 + 出席点20点 + 平常点(小テスト)10点</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>日本化粧品検定 1級対策テキスト コスメの教科書 オリジナルプリント</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>テキスト及びプリントの復習を行いましょう。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>日本化粧品検定1級取得に向けての対策講座です。不明点は授業前後に質問してください。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	前期内容(3級・2級)の総復習。自身の苦手な箇所の把握と対策を立てることができる。①		配布資料 テキスト	テキストに目を通しておく。	
	各コマに おける 授業予定	日本化粧品検定の3級内容について。				
第2回	授業を 通じての 到達目標	前期内容(3級・2級)の総復習。自身の苦手な箇所の把握と対策を立てることができる。②		配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。	
	各コマに おける 授業予定	日本化粧品検定の2級内容について。				
第3回	授業を 通じての 到達目標	化粧品の歴史について理解し、説明することができる。		配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。	
	各コマに おける 授業予定	化粧品の歴史について学ぶ。				
第4回	授業を 通じての 到達目標	化粧品原料についてそれぞれの特徴を理解することができる。		配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。	
	各コマに おける 授業予定	化粧品の原料(水溶性・油性・界面活性剤・酸化防止剤等)について。				
第5回	授業を 通じての 到達目標	スキンケア化粧品についてそれぞれの特徴を理解することができる。		配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。	
	各コマに おける 授業予定	スキンケア化粧品について(構成成分・クレンジング・洗顔・石けん等)について。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	男性肌の特徴について学び、女性肌との違いを理解することができる。	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	男性肌の特徴(構造・皮脂分泌量等)について。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品についてそれぞれの特徴を理解することができる。①	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	メイクアップ化粧品(原料・UVケア化粧品・ベースアップ化粧品①)について。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品についてそれぞれの特徴を理解することができる。②	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	メイクアップ化粧品(ベースアップ化粧品②・ポイントメイクアップ化粧品・アイメイクアップ化粧品)について。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボディケア化粧品についてそれぞれの特徴を理解することができる。	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	ボディケア化粧品(洗淨料・防臭化粧品・脱毛料・入浴料等)について。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	毛髪の構造とヘアケア製品についてそれぞれの特徴を理解することができる。	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	毛髪と頭皮の構造と機能・毛髪の変化とトラブル・ヘアケア化粧品について。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ネイルの構造について理解し、説明できる。	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	つめの構造と機能・ネイル化粧品のお手入れ方法について。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	香りの成分と働き・オーラルケアとケア製品について理解することができる。	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	嗅覚の仕組みと香りの種類・口腔と歯の構造について。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	サプリメントの基礎知識・化粧品にまつわるルール①について理解することができる。	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	サプリメントの基礎知識・化粧品と医薬品医療機器等法・化粧品の成分表示・化粧品の安全性を守るためのルール等について。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	化粧品にまつわるルール②について理解することができる。	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	化粧品を安全に保つために・化粧品と肌トラブル・化粧品の官能評価等について。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期内容を総復習し、ポイントを整理することができる。	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	総まとめの実施		